

令和7年度こども霞が関見学デーを開催しました!

霞が関の各府省庁等が連携して、夏休み期間中に子供たちが広く社会を知る機会を提供し、政府の施策に対する理解を深めてもらう「こども霞が関見学デー」を開催しました。

農林水産省では、8月6日と7日に会場参加プログラムを実施し、2日間で延べ6,939人の来場があり、多くの子供たちに参加いただきました。林野庁は、子供たちに森林・林業・木材産業の面白さや大切さを知ってもらうために、4つの会場プログラムを実施しましたので、その様子を紹介します。

木とあそび・木を学んで樹木博士になろう!

講師に森林インストラクターを迎え、森林の働きや樹種ごとの特徴等について、楽しみながら学べるプログラムを実施しました。実際に葉や枝の標本を観察して、樹種を当てるテストに挑戦してもらい、合格した約400人の子供たちに、子ども樹木博士の認定証を授与しました。



木のスプーンを作ろう

国産のヒノキをやすりで削って、木のスプーンを作るワークショップを開催し、2日間で60人以上の子供たちがスプーンの製作に挑戦しました。子供たちは職員に削り方のコツを教わりながら、真剣な表情で削っていました。

木のスプーン➡



おやまの小さななかまたち～食べておいしいきのこたち～

原木から生えているしいたけや、菌床栽培したえのきたけ・ぶなしめじを展示し、自由に触れてもらったほか、竹から作った炭や洗剤なども展示し、特用林産物と触れ合えるプログラムを実施しました。子供たちは「このきのこ本物かな?」と、最初は恐る恐る触れていましたが、慣れてくると他のきのここと触り比べて思い思いの感想を述べていました。



木材の「今」を知ろう

木を薄くスライスしたツキ板やCLTを使った製品等の展示を行ったほか、合板の製造過程を学べる絵本の配布を行いました。「どうやって作るんだろう?」などと話しながら、木製品を手にとって、興味深そうに眺める親子もおり、多くの子供たちに木製品の魅力を知ってもらいました。

また、6月27日から特設ウェブサイト「マフ塾2025」にて、オンラインプログラムを公開しています。林野庁では、「[木づかい]しよう～木を使うのは良いこと?～」と題して、森林の環境援団のサザエさんとの対談動画などを掲載しています。当日ご来場いただけなかった方や、農林水産省に興味のある方は、是非ご覧ください。



「木づかい」しよう
木を使うのは
良いこと?



「木づかい」しよう～木を使うのは良いこと?～

森の木を伐って使うのは環境にやさしい?日本の木を使うことがなぜ良いことなのかについて学びましょう!

3. 木づかい動画～サザエさんに聞いてみよう～

森林資源の減・増や森林が果たす役割について、森林の環境援団のサザエさんに聞いてみよう!



https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2025/content/mokuzai.html